技術・家庭科（家庭分野）

技術・家庭科（家庭分野）の目指す生徒像

- 衣食住などに関する基礎的・基本的な知識、技術を身に付け、自立した生活を目指し、自分なりに生活を工夫する生徒

授業評価における課題

- 発言や質問があまりできない生徒がやや多くなった。決まった生徒の発言だけではなく、全員が発言や質問をしやすい授業方法の改善が必要である。
- 視聴覚機器を活用した授業を工夫し、技能を定着させる必要がある。

言語活動における課題

○ 衣食住に関する問題点や課題を明らかにし、解決の手だてを考えたり伝えたりする活動を充実させることが必要である。

≪本校で検討した言語活動例≫

衣食住やものづくりに関する実践的・体験的な活動

改善策 ①

生徒同士の学び合い、教え合いの機会を設け、発言しやすい雰囲気をつくる。

改善策 ②

ワークシートや板書計画の改善を図り、課題解決型の授業を展開する。

改善策 ③

実際の作業行程（縫う、切る等）を、視聴覚機器を活用して効率的に説明する。

～研究の成果～

- 生徒同士で学び合い、教え合うことにより、学習進度の差が少なくなり、意欲をもって授業に取り組む生徒が増えた。
- 生徒が課題意識をもって、授業に取り組むことによって、知識、技能の定着を図ることができた。